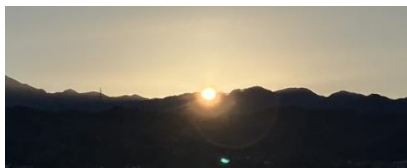




## 70 万件の感謝とともに迎える新年

2026 年 1 月 1 日

昨年 10 月にホームページの累計閲覧数が 50 万件を超えたこ



とをお伝えしましたが、その後もたくさんの方に見ていただき、R7 年の年末、12 月 28 日に 70 万件を超えました。

まさか年内にここまで伸びるとは思っておらず、本当にびっくりしています。

そして何より、阿南高校の毎日に目を向けてくださる皆さんの存在が、とても心強く、ありがたいです。

去年は、学校の中でも外でも、いろいろと感じることの多い一年でした。生徒の頑張りや地域や同窓会の温かさに触れながら、「阿南高校っていいな」と思う場面がたくさんありました。

今年は午年ですね。

馬のように前へ進む力を大切にしながら、生徒一人ひとりの挑戦が、のびのびと広がっていく一年になればと思っています。阿南高校も、軽やかに、そしてしっかりと前へ進んでいきたいです。

これからも生徒の表情や、地域の自然、日々のちょっとした出来事をお届けしていきます。その発信が、どこかで誰かの元気につながっていたら嬉しいです。

新しい年、みなさんにとって、今年が穏やかで心豊かな一年になりますように。本年も、どうぞよろしく願いいたします。

## 「地を蹴り、跳び立つ一年に」 3 学期が始まりました

2026 年 1 月 6 日

今日から三学期が始まりました。

今朝も校門に立ちながら、生徒の皆さんの「あけましておめでとうございます」や「おはようございます」という声と、久しぶりの笑顔に触れ、学校にまた温かな空気はもちろん、活気も戻ってきたことをうれしく感じました。

計画では、教室のスクリーンを使ってオンラインで始業式を行う予定でしたが、今朝から Wi-Fi の調子が悪く、急きょ放送での実施となりました。

放送での始業式は、いつも広報委員の生徒が機器の操作を手伝ってくれており、今日も落ち着いて準備を進めてくれました。

三学期は一年のまとめであり、次の学年や進路へ向けて気持ちを整える大切な時期です。

そのスタートにあたり、始業式では新しい年に込めた思いを、生徒の皆さんにお話しました。

以下に、始業式でお伝えした講話の要約を掲載します。

今年も、生徒一人ひとりの歩みに寄り添って、後押しできる学校でありたいと思います。

### 3 学期始業式 校長講話要約

新年を迎え、学校に生徒の声や笑顔が戻ってきたことを嬉しく感じています。冬休みは家族や友人とゆっくり過ごせた人も多かったのではないのでしょうか。私自身も同窓会で久しぶりの再会があり、人とのつながりの大切さを改めて感じました。

今年は「午(うま)年」です。馬は力強さやスピードの象徴であり、

漢字の形にも「地面を蹴って跳ぶ姿」が表れています。高校生活も同じで、日々の学びや活動という“地面”をしっかり踏みしめることで、大きく成長することができます。

また、「人間万事塞翁が馬」という故事のように、人生には予想外の出来事が起こります。うまくいかないこともあります。それが後で大切な転機になることもあります。結果に振り回されすぎず、前へ進み続けるしなやかさを大切にしてほしいと思います。

さらに「駿馬(しゅんめ)」という名馬を表す言葉があります。皆さんにも、まだ気づいていない力や可能性が必ずあります。三学期はその力を見つけ、伸ばし始めるのに最適な時期です。

三年生は進路へ向けて走り出す準備を、二年生・一年生は次のステージへの助走をする時期です。仲間や先生、家族の支えを受けながら、自分を信じてまっすぐ進んでください。

2026 年の午年が、皆さんにとって「躍動」と「飛躍」の一年になることを願っています。

## 百人一首大会・初日(予選)

2026 年 1 月 8 日

今日は放課後、図書館で各クラスから出場した 4 チームによる予選会(散らし取り)を行いました。



和やかな雰囲気の中にも、札を前にすると自然と表情が引き締まり、どのチームも楽しみながら真剣に取り組んでいました。

読み手は、図書館司書の高坂先生と、図書委員会顧問の新井先生。読み上げの声に合わせて、生徒たちは集中して札を追っていました。

図書委員の皆さんは、審判や集計を担当し、試合の進行をしっかり支えてくれました。クラスメイトの応援に訪れた生徒たちの声かけや、取れた札に喜んだり悔しがったりする姿が、図書館に温かい空気をつくっていました。



予選は 2 試合の合計枚数で順位を決定します。明日は、上位チーム同士、そして下位チーム同士による決勝戦・3 位決定戦を行います。決勝と 3 位決定戦は、毎年恒例の源平戦です。ちなみに、お手つきは マイナス 1 ポイント(1 枚)。

明日の決勝戦も、きっと楽しい時間になることでしょう。

## 「新野の伝統を次世代へ」 - 郷土芸能部が中日新聞に掲載されました

2026 年 1 月 9 日

本日 1 月 9 日付の中日新聞・朝刊 16 面のアルプス版「踏み出せジモトへ」に、阿南高校郷土芸能部の活動が大きく取り上げられました。

記事の見出しは「新野伝統を次世代に残せ」。地域の宝である新野の伝統芸能を、若い世代が真剣に受け継ごうとする姿を丁寧に紹介していただきました。

郷土芸能部は、国の重要無形民俗文化財に指定されている「新野の雪祭り」と「新野の盆踊り」を中心に、地域の皆さまのご指導をいただきながら活動を続けています。どちらも 500 年以上の歴



史を持ち、ユネスコ無形文化遺産にも登録されている、南信州を代表する伝統文化です。

今回の取材では「生徒たちがなぜ伝統芸能に向き合うのか」その思いや魅力について語る様子が紹介されています。地域の伝統芸能である舞や太鼓の稽古に励む姿は、まさに「地域とともにある学校」の象徴です。若い力が地域文化を未来へつなぐ、その姿勢が紙面からも伝わってきます。

中日新聞デジタル版では、郷土芸能部の活動を紹介する動画も公開されています。生徒たちの真剣な表情や、伝統芸能の力強さがよく伝わる内容です。ぜひご覧ください。

■ 中日新聞デジタル(記事)

<https://www.chunichi.co.jp/article/1181949>

📺 中日新聞デジタル編集部による紹介動画【YouTube】

<https://youtu.be/em7MuLxy69M?si=ZamL96Gn-TSftiz2>

地域のみなさんに支えられながら、生徒たちは今日も学び、挑戦を続けています。

来年度 7 月 28 日～30 日に秋田県湯沢市で開催される「あきた総文 2026(全国高等学校総合文化祭)郷土芸能部門」に、阿南高校郷土芸能部は長野県代表として出演します。今回の新聞掲載を励みに、これからも地域に根ざした活動をさらに広げ、全国の舞台でも力を発揮してくれることを期待しています。生徒たちの挑戦を、どうか温かく、そして応援・支援いただければ幸いです。

## 実習・調査で見つけた「福祉の心」 一福祉系 学習発表会【前半】一



2026 年 1 月 15 日

本日、福祉系列の学習発表会を行いました。

最初のプログラムは、3 年生による手話歌の披露です。曲は、いきものがかりの「YELL」。



卒業を迎える自分たちへのエールも込めて選んだそうで、手の動き一つひとつに気持ちがこもり、会場が静かに温かい空気に包まれました。

続く発表Ⅱでは、3 年生が泰阜村のデイサービスと阿南学園での実習を振り返りました。

利用者さんとのやり取り、緊張した場面、思うようにいかなかったこと、そして嬉しかった瞬間まで、等身大の言葉で語ってくれました。



どの生徒にも共通していたのは、「相手をよく見ようとする姿勢が育った」ということです。表情やしぐさなどの小さな変化に気づき、相手の背景を想像しながら丁寧に話をし、「人と向き合う力」を身に付けられたと感じました。



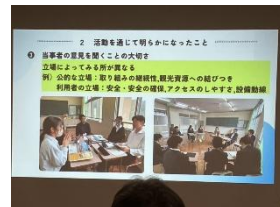
また、時間を守ることの大切さや、手順や注意点を理解して動くことなど、現場ならではの学びも多く語られました。



「ただ作業をするのではなく、利用者さんの生活を支えるための一つひとつなんだ」と気づいた生徒も多く、実習が大きな成長のきっかけになったと思われます。

さらに、2 年生が取り組んだ「福祉の視点から地域をとらえる」公園調査の発表も行われました。

地域の施設や町役場を訪ね、働く方々から直接お話を伺い、福祉の現場を自分たちの目で見てきた取り組みです。



調査を通して、福祉が地域の暮らしと深くつながっていること、そして支援は一人ではなく“チームで行うもの”であることを実感したと思われます。

実習・調査を経験したことで、生徒たちは「福祉は特別な場所だけのものではなく、日常の中にあるもの」という視点を少しずつ身につけてきたように思います。

ここで休憩を挟み、後半は 3 年生による総括発表へと続きます。生徒たちがこの 2 年間でどんな成長を遂げ、どんな未来を描いているのか、その姿を後半のブログで紹介したいと思います。

## 百人一首大会 表彰を行いました



2026 年 1 月 15 日

1 月 8 日(木)の予選(散らし取り)に

ついては、すでに校長ブログで紹介しましたが、翌 9 日(金)には放課後の図書館で決勝・三位決定戦(源平戦)を行いました。

相手チームの陣から札を取ると自陣の札を一枚渡し、お手つきでは相手チームから一枚もらうという独特のルールがあり、札の行き来が勝敗を左右します。どのチームも最後まで集中して取り組み、白熱した勝負となりました。

そして本日放課後、校長室にて、団体・個人の表彰を行いました。



〈団体の部〉

- ・優勝 ノリで来てみた★(2B)
- ・準優勝 烏合の衆(1A)
- ・第 3 位 まっしろしろた(2A)

〈個人の部〉

- ・第 1 位 A.M.さん(2B)
- ・第 2 位 S.M.さん(2A)
- ・第 3 位 S.R.さん(1A)



大会の準備・運営を担った図書委員会の皆さん、読み手を務めてくださった先生方、そして参加した生徒の皆さんのおかげで、今年も熱のこもった大会となりました。

来年度もまた、百人一首を通して、言葉の美しさや仲間とのつながりを感じられる時間を期待しています。

